

令和4年7月調査 賃金実態調査報告書(要約版)

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会
宇城久地域ビジネスサポートセンター
(宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会)

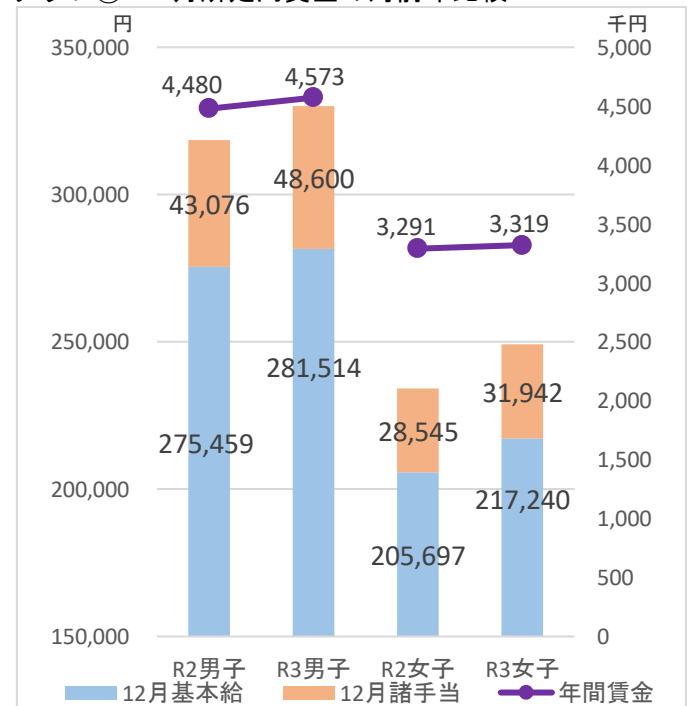
宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会では、企業の賃金等の実態を把握し、労働環境の整備や雇用の確保など今後の企業経営の参考に供することを目的として、毎年7月に宇治・城陽・久御山区域内に事業所を有する企業1000社を対象に「賃金実態調査」を行っています。

今回は本年7月に、令和3年12月期の基本給や諸手当、令和3年1月～令和3年12月の年間賃金についての調査を行い、259社から回答(回答率25.9%)を得ました。以下は賃金実態調査結果の要約です。

①業種別平均賃金

区分	集計事業所数	集計人数	平均年齢	平均勤続年数	令和2年12月の所定内賃金		年間賃金
					基本給	諸手当	
全業種平均	234社	1,324人	45歳	12年	281,514円	48,600円	4,573千円
		459	43	10	217,240	31,942	3,319
製造業	118	884	44	13	276,991	45,253	4,598
		261	43	10	205,505	30,407	3,299
卸売業	14	63	44	14	264,827	68,002	4,689
		24	43	10	222,137	33,464	3,509
小売業	22	65	43	12	225,629	64,020	3,764
		35	42	13	210,105	38,268	2,842
飲食業	10	24	42	9	248,452	53,667	3,596
		18	52	17	227,333	42,143	3,388
運輸・通信業	5	29	53	15	300,978	41,387	4,608
		6	51	14	278,900	27,425	3,649
建設業	30	122	49	14	309,608	46,333	4,850
		34	48	11	246,346	35,857	3,952
サービス業	17	81	44	12	251,499	64,219	4,528
		47	38	8	211,562	32,672	3,437
その他の業種	18	56	46	10	267,435	54,000	4,007
		32	44	8	197,687	24,688	2,762

グラフ① 12月所定内賃金の対前年比較



令和3年12月に支払われた基本給は、全業種平均で男子281,514円(45才、勤続12年)、女子217,240円(43才、同10年)。諸手当については、業種平均で男子48,600円、女子31,942円であった。

また、令和3年1月～12月の間に支払われた年間賃金(所定外賃金・賞与含む)は、全業種平均で男子4,573千円、女子3,319千円となっている。

基本給をその他以外の業種別にみると、男子では建設・不動産業309,608円(49才、同14年)が最も高く、次いで、運輸・通信業300,978円(53才、同15年)、製造業276,991円(44才、同13年)の順で、女子については運輸・通信業の278,900円(51才、同14年)が最も高く、次いで、建設・不動産業の246,346円(48才、同11年)となっている。

前年と比較すると、男女とも基本給・諸手当の両方で増加しており、男子の年間賃金は3年連続で減少していたが、今年度は増加に転じ、女子は4年連続の増加となっている。

②規模別平均賃金

区 分		事業 所数	全従業員 平均賃金		従業員 1～19人		従業員 20～49人		従業員 50～99人		従業員 100人以上	
		社	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
全業種 平均	男子	234	1,324	330,114	510	341,278	487	317,589	156	344,802	118	333,460
	女子		459	249,182	157	244,803	159	241,277	69	259,254	54	279,361
製造業	男子	118	884	322,244	305	330,243	361	310,465	100	320,894	91	349,443
	女子		261	235,912	70	241,584	115	233,214	24	268,669	31	270,994
卸売業	男子	14	63	332,827	27	311,648	7	410,551	28	336,005	xx	xx
	女子		26	265,312	13	248,613	6	295,526	7	254,607	xx	xx
小売業	男子	22	55	289,649	37	273,990	6	300,973	11	352,258	10	276,800
	女子		26	248,373	16	173,155	xx	xx	9	305,150	10	294,210
飲食業	男子	10	24	302,119	6	273,000	8	338,458	xx	xx	7	279,500
	女子		18	269,476	4	297,500	2	196,500	xx	xx	3	272,667
運輸・ 通信業	男子	5	29	342,365	9	396,248	xx	xx	20	320,908	xx	xx
	女子		6	306,325	3	404,800	xx	xx	3	245,567	xx	xx
建設業	男子	30	122	355,940	71	342,252	49	375,259	xx	xx	xx	xx
	女子		34	282,203	21	273,961	12	290,636	xx	xx	xx	xx
サー ビス業	男子	17	81	315,718	26	317,435	30	313,050	15	338,431	10	280,944
	女子		47	244,234	6	187,195	20	246,193	11	220,979	10	289,993
その他 の業種	男子	18	56	321,436	20	381,313	26	286,442	6	233,500	xx	xx
	女子		32	222,375	13	256,058	4	243,400	14	193,714	xx	xx

(注) データが1名以下の区分については“××”を表示している。

令和3年12月に支払われた所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）の規模別平均賃金を業種別でみると“全従業員平均賃金”を“従業員1～19人”区分の賃金が上回ったのは、男子では製造業、運輸・通信業、サービス業、その他の4業種、女子は製造業、飲食業、運輸・通信業、その他の4業種である。“従業員20～49人”区分では、“全従業員平均賃金”を卸売業、建設・不動産業の2業種が男女ともに上回った。

一方、“従業員1～19人”区分を業種別にみると“全業種平均”の賃金を上回った業種は、男子では、運輸・通信業、建設・不動産業、その他の3業種。女子では、卸売業、飲食業、運輸・通信業、建設・不動産業、その他の5業種となっている。また、“全従業員平均賃金”の対前年比較では、男女とも飲食業と運輸・通信業で大きく増加した。

③業種別パート社員等平均時給額

区 分	事業所数		パート数		平均時給額		対前年時給額	最高時給額
	社	人	R3	R2	伸 び 率	R3		
全業種平均	142	625	1,030 円	1,010 円	1.98	— 円		
製造業	72	322	1,040	1,023	1.66	3,500		
卸売業	6	45	981	963	1.87	1,394		
小売業	16	59	982	1,013	▲3.06	1,200		
飲食業	10	42	981	953	2.94	1,100		
運輸・通信業	3	15	1,051	945	11.22	1,200		
建設業	5	14	1,368	1,135	20.53	2,300		
サービス業	12	52	1,021	1,010	1.09	1,600		
その他の業種	18	76	1,019	1,055	▲3.41	1,850		

令和3年12月に支払われたパート社員等の平均時給額は、昨年から1.98%増加し全業種平均で1,030円となっている。

業種別に見ると、平均時給額は建設・不動産業の1,368円が最も高く、次いで、運輸・通信業が1,051円、製造業が1,040円、サービス業が1,021円、その他の業種が1,021円、小売業が982円、最も低いのは卸売業と飲食業で981円となっており、京都府の最低賃金937円を44円（注1）上回る高い水準となった。